

なぜ食育が必要なのか？

食べたい時に食べたいものを自由に口にすることができる「飽食の時代」を迎えています。しかし、一方で、食べることへの意欲、関心や「食」を大切にする意識が薄れ、食生活の乱れや肥満の増加、朝食の欠食、食を通じたコミュニケーションの不足、食の安全など、食を取り巻く様々な問題が生じています。

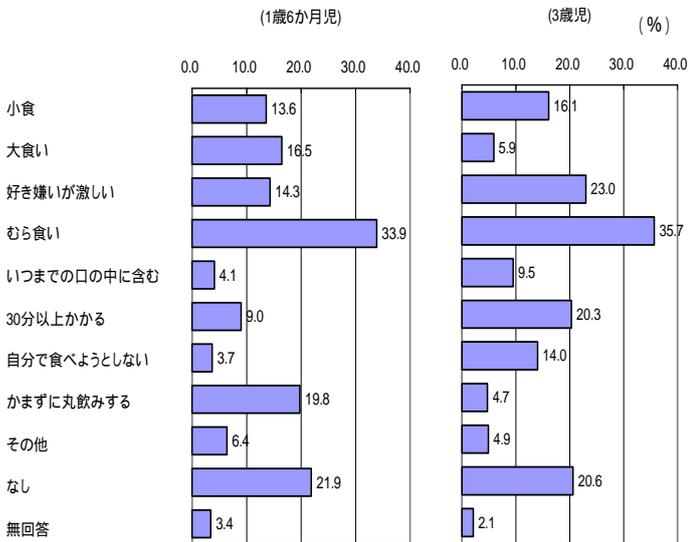
今こそ、人間はなぜ食べるのかという原点に戻って考え、食の本質、食の基本や食の価値を理解し、食材本来の味、郷土の味や食文化を、様々な体験や人との触れあいを通して学び、自分の食を大事にした生活の基本を身につけ、健康なからだをつくり上げていくことが必要です。

食育は、その基礎であり、未来を担う子どもたちをしっかり伝えていくためにも食育に取り組む必要があります。

「食」をめぐる「ちば」の現状

食育は噛むことからスタート

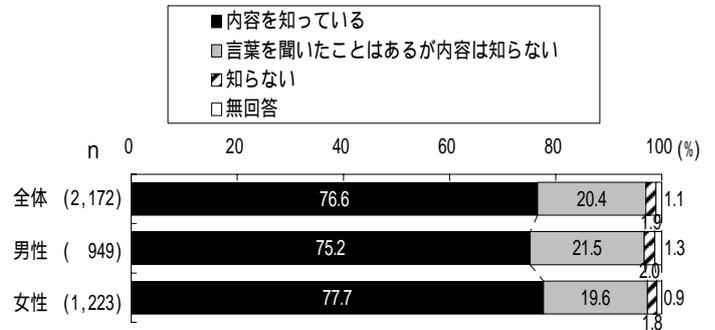
食事に関する心配事（千葉県）



資料：平成 17 年度 1 歳 6 か月児及び 3 歳児歯科保健アンケート(千葉県)

健康は自分でつくり、守るもの

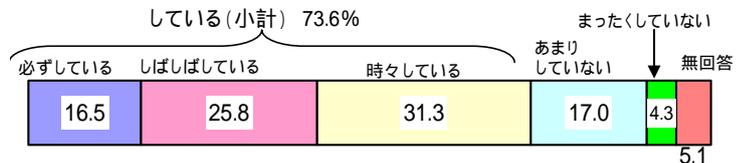
メタボリックシンドロームの認知度(千葉県)



資料：平成 19 年度生活習慣に関するアンケート調査報告書(千葉県)

食卓は親子の大切なコミュニケーションの場

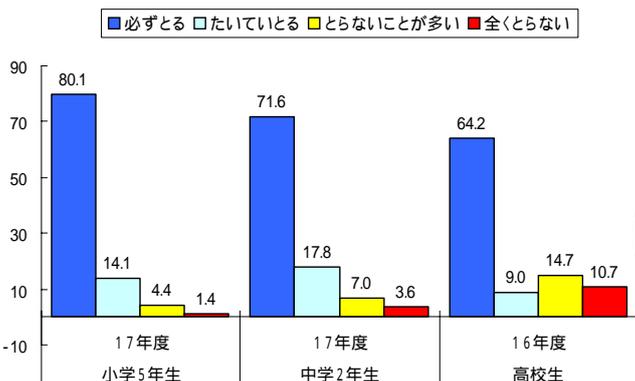
家族や友人と食卓を囲み、食を通じたコミュニケーションを充実させている(千葉県)



資料：第 35 回県政に関する世論調査(平成 19 年度:千葉県)

朝食は身体と脳を目覚めさせる大切なエネルギー

朝食の欠食率(小・中学生、高校生:千葉県)



資料：小中学生「平成 17 年度千葉県学力状況調査報告書」
 「平成 18・19 年度千葉県学校給食基本調査報告」
 高校生「平成 16 年度高校生の生活状況と意識に関する調査結果」(千葉県)

「食」は生きることの基本です。正しい食生活が健康への第一歩です。

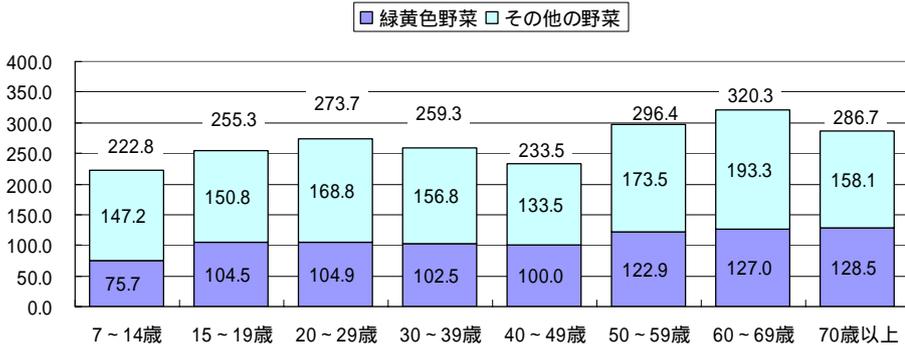
朝食をきちんと食べる子どもの方がペーパーテストの得点が高い傾向があります。

「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつがある食卓はおいしく気持ちよく食事を楽しめます。



全国に誇る農林水産県「ちば」、千産千消でもっとちばを知ろう

1日あたりの野菜の平均摂取量(年齢階層別：千葉県)



野菜摂取の目標値

野菜：成人1日あたり350g以上
 緑黄色野菜：成人1日あたり120g以上
 資料：平成17年度千葉県民健康・栄養調査報告

全国に誇る千葉の農林水産業

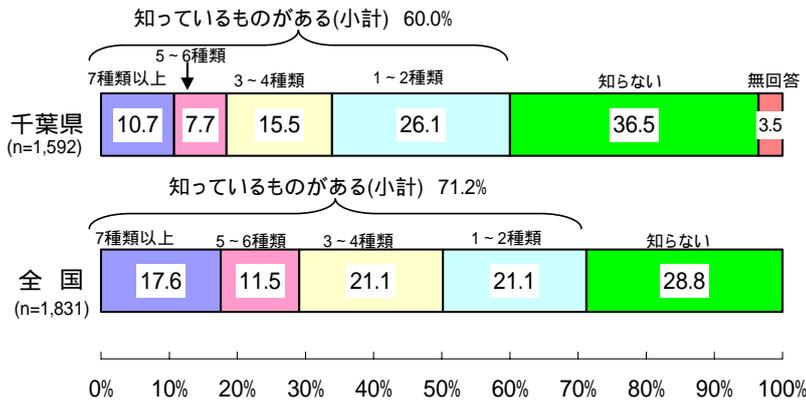
農業産出額：全国第4位
 野菜産出額：全国第1位
 畜産産出額：全国第6位
 水産業：全国第6位
 (海面漁業生産量)

資料：平成17年生産農業所得統計
 平成17年農林水産統計

「ちば」は、食材豊かな農林水産県です。全国1位の農水産物も多く、郷土料理・伝統料理がたくさんあります。「ちば」でとれる食材を千産千消して、「ちばの食」を満喫してください。

ふるさとの味を大切に

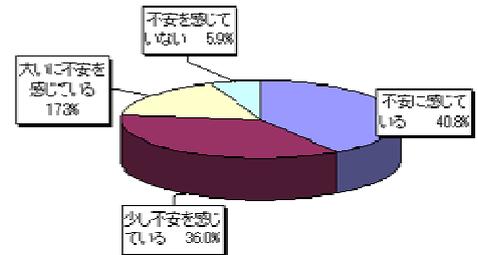
住んでいる地域の郷土料理・伝統料理を何種類知っていますか(千葉県)



資料：平成19年度第35回県政に関する世論調査結果(千葉県)
 食育に関する意識調査報告書(平成19年3月：内閣府)

食への不安が増大

食に対する不安(千葉県)

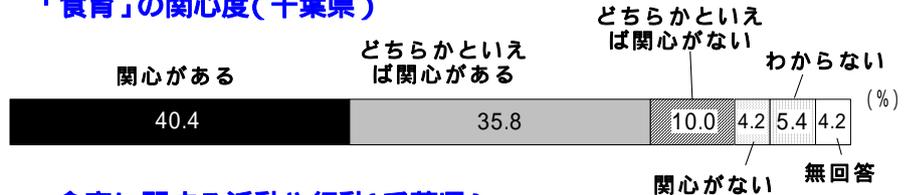


資料：平成15年度県政モニター調査結果(千葉県)

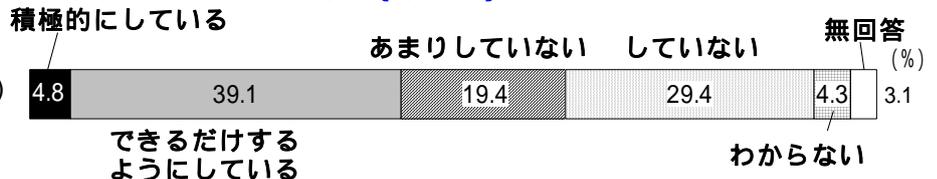
様々な食育の活動が行われています。ぜひ積極的に参加してみてください。自分の「食」を考える良い機会になると思います。

関心は高くても実践が難しい

「食育」の関心度(千葉県)



食育に関する活動や行動(千葉県)



平成18年度第32回県政に関する世論調査結果

ちば食育ボランティア
 5,081名
ちば食育サポート企業
 123社
 が活動しています。
 (平成20年11月1日現在)



千産千消：千葉県産の新鮮でおいしい、安全、安心な農林水産物を、千葉県内で消費すること。一般的には「地産地消」と書きますが、千葉県では「地」の部分千葉を意味する「千」を使い、千葉県での独自の取組を表現するために「千産千消」としました。